

商都大阪を築いた薩摩藩士 五代友厚 誕生地を整備しました

朝ドラで一躍脚光を浴びた五代友厚の誕生地が、「五代友厚誕生地整備事業」により、市民や観光客が憩える広場として整備され、五代の命日である9月25日(日)に完成式典が開催されました。



誕生地の全景



誕生地の碑・観光案内版



整備完成式典の様子

<事業の背景>

五代友厚誕生地は、鹿児島都市計画道路「易居草牟田線」城山トンネルの新設に伴い、「城山トンネル管理用地」として鹿児島県から平成4年2月に取得しました。この誕生地は、トンネルの管理用地であったことから、これまで一般の方々に開放しておりませんでした。が、鹿児島市では、明治時代の薩摩の偉人である「五代友厚」の偉業を鹿児島の未来を担う子どもたちに伝え、市民や観光客の方々にも広く知っていただくことが、まちの魅力づくりにつながるものとして、整備を進めてまいりました。

<事業概要>

- 事業名：五代友厚誕生地整備事業
- 目的：市民や観光客が憩える多目的広場として整備
- 施行年度：平成28年度
- 所在地：鹿児島市長田町31番地ほか
- 広場面積：約1,000㎡
- 事業費：約3,500万円
- 施設概要：石碑移設、観光案内板移設、休憩所、ベンチ、水飲み場、多目的トイレ、土系舗装、ブロック舗装、照明灯



<鹿児島市泉町にある五代友厚像>

五代友厚（1835年～1885年）

1835年	薩摩国鹿児島郡城ヶ谷（長田町）で、薩摩藩儒臣・五代直左衛門秀堯の二男として誕生、幼名徳助のちに才助
1846年	藩の聖堂（造士館）に入り文武修行
1848年	世界地図を模写、地球儀を自作する
1854年	藩の郡方書役となる
1857年	長崎へ留学
1863年	薩英戦争で英艦の捕虜となり、横浜で解放されるも脱藩者とみなされ潜居
1865年	留学生を率い渡英、モンブランと貿易商社設立交渉
1868年	大阪府判事となる、大阪造幣寮設置に尽力
1869年	会計官権判事（横浜転勤）の命に大阪官民挙げて留任運動が起こり、官を辞して商都大阪の建設を決意
1870年	友厚を名乗る、官途就任を拒絶
1878年	大阪株式取引所設立、大阪商法会議所を創設し初代会頭となる
1880年	大阪商業講習所（現大阪市立大学）創設
1884年	阪堺鉄道会社・神戸棧橋会社設立
1885年	9月25日 東京築地の別邸で死去、49歳